2022年度水俣フォーラム 事業計画

新型コロナウイルスの感染状況が収束するかは依然として定かでないが、総会開催時点では下記の事業を計画している。重きをおくのは、「展示物のリニューアルと新規制作」「水俣展全図録の編集」「福岡展の開催準備」「首都圏展の会場確定」の 4 つである。他の事業も大切なのはもちろんだが、その時点における優先順位を考えながら、とりわけ上記の遂行と達成に力を注ぐ所存である。

１. 水俣病公式確認６０年記念事業

①展示物のリニューアルと新規制作　入稿データを完成させる（パネル発注は 2023 年度）

②水俣展全図録の編集　入稿データを完成させる（印刷発注は 2023 年度）

２. 水俣展

①福岡展（2023 年 10 ～ 11 月）　の開催準備、グリーンコープへの共催提案の結実

②首都圏展　2024 年の会場を確定

③京都展　2025 年の会場を調査・絞り込み

３. 講演会開催（いずれもオンラインを併用）

①記念講演会　第 19 回の開催準備（2023 年春、京都）

②水俣セミナー　8 ～ 10 回開催、新宿･常円寺、100 人規模、来場 + オンライン

４. 機関誌発行

①水俣フォーラムNEWS　1 回発行、9 月　2500 ～ 3000 部

５. インターネットによる発信

①各種 SNS での定期発信（発信内容の充実、体制の整備、コラムの開始）

②海外向け多言語発信準備（言語確定、各言語専門家と翻訳ボランティア体制の確立）

③ホームページの刷新（団体概要的な内容を改良）

６. その他の事業

①水俣病ライブラリーの整理（書籍、映像、写真、音声）

７. 水俣病関連書籍の出版編集協力

①石牟礼道子エッセー集　2023 年 4 月発行予定

８. 総会・理事会・運営委員会

①総会　6 月、全会員（決算、予算、定款の変更）

②理事会・運営委員会（理事会 1 ～ 2 回、合同運営委員会 6 ～ 8 回程度）

９. 事務所機能向上のための取り組み･運営基盤整備

①事務所の書棚とファイル棚の整備　年間を通じて実施

②旧展示物を含む倉庫の整理と各種制作物・資料の廃棄　11 月

③退職金積み立ての開始（4 月、中小企業退職金共済制度への加入）

④譲渡所得等の非課税の承認を受けるための要件整備（定款の変更を含む）

１０. 助成、補助金等

①環境再生保全機構地球環境基金助成金　500 万円内定、3 年計画の 2 年目

「オンラインと対面型の併用による水俣病の普及啓発と人材育成」

②新宿区協働推進基金助成金　50 万円（上限）申請

「水俣病の経験から考える環境問題」、水俣セミナー特別企画3回

③新規助成・補助金等申請の検討

コロナ関連補助金、中退共新規加入助成、地球倫理推進賞など

※ 水俣への旅、水俣病読書会、水俣病記録映画の連続上映会は上記計画に含んでいないが、要望が多いことをふまえ感染状況等によっては実施を検討することをはじめ、他の事業も柔軟に変更、展開する。